

様式3 指定管理業務 事業評価書（市及び指定管理者作成）

令和3年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手市立武道館
施設所管課	教育委員会 社会教育課（内線 644,645）
指定管理者名	NEM/NTTファシリティーズ共同事業体
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（3年目）

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
I 履行の 確認	1 施設全般管理運営に関する業務			
	(1)職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
	(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
	(3)利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	4	3
	2 施設利用に関する業務			
	(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか ※1	3	3
	(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	3	3
	3 保守点検並びに清掃等業務等			
	(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
	(2)清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	3	3
	(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
	(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	3	3
	4 事業の実施に関する業務			
	(1)指定業務	基準に基づく指定業務が適切に行われたか	3	3
	(2)自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	4	3
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか ※2	3	3
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
	8 その他			
	(1)記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
(2)経理	経理処理が適切に行われたか	3	3	
(3)意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3	

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価	
Ⅱサービスの質の評価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	4	3	
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	3	3	
	3 運營業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	3	3	
	4 指定事業・自主事業				
	(1) 指定事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3	
	(2) 自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3	

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲサービスの安定性の評価	1 事業収支	事業収支は妥当であるか ※3	3	3
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※5	3	3
合計得点		I・Ⅱ・Ⅲの評価点数の合計(得点/満点)	78 / 100	75 / 100

総括	指定管理者の自己評価	<p>○総評</p> <p>・運営面においては、令和3年度も新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じた上で運営いたしました。利用料金は1,724,400円で前年差プラス285,050円、利用者数は26,166人で前年差プラス7,347人となりました。前年度は4月～5月まで休館していた影響もありますが、利用者は着実に回復傾向にあります。しかし、武道の多くがコンタクトスポーツであることから、感染が増える時期には活動を控える団体も多く不安定な状況が続きました。</p> <p>・管理面においては、計画通り保守点検業務を履行したほか、職員及び本施設での活動団体(弓道連盟)と協働して、植栽管理にもつとめ施設的美観維持に努めました。修繕業務については、保守点検にて指摘された箇所は担当課に報告し速やかに修繕を実施いたしました。また、利用者の方から多くの要望をいただいております。館内の明るさ確保についても、引き続きLED化に努め、本年度柔道場は全てLED化いたしました。</p> <p>・事業面においては、教室事業として本年度も幸手市武道団体連絡協議会(=以下、武連協)加盟団体を中心に本施設で活動する団体・利用者の方にご協力いただき、事業を開催いたしました。武道教室としては、柔道・剣道・空手・太極拳・居合道・なぎなたの6種11教室の入門武道教室を開催し117名の方に参加いただきました。他にも主に女性を対象とした、ストレッチ体操やキックボクシング教室といったリフレッシュ系事業を3教室開催し59名の方に参加いただきました。いずれの教室も参加費は500円のワンコインで気軽に参加できる金額としました。</p> <p>イベント事業としては、7月～8月の夏休み期間にかけて無料で武道体験ができるチャレンジ武道を開催し市内の小学生を中心に74名の方にご参加いただきました。特に剣道体験へは過去4年間で最高の36名の方に参加いただきました。また、3月には武道館演武会を開催いたしました。活動団体の日頃の稽古披露の場と同時に武道(館)をまだ知らない方に参加いただき武道(館)への関心を高めていただく機会といたしました。参加者は157名で、ファミリー世代を中心にご来館いただいたほか、アンケート回答者(110名)の内、実に24%の方が初めて武道館に来館いただけたことがわかり、武道振興への成果を果せました。こうした取り組みにより、幸手市における武道の更なる振興と本施設のPRに寄与できたものと考えます。</p> <p>○自己評価4の理由</p> <p>I 1(3)、I 4(2)・・・武連協と協力し武道系自主事業教室を6種11教室及び武道イベントを2種開催することで本施設で活動する武道団体を市内・広域に積極的にPRすることにより団体への参加者を増やすことで、積極的な利用促進を行い、本年度は教室経由で117名の方に参加いただいたことで幸手市における武道振興に寄与したこと。コロナ禍で中止とした教室もあるが、実施が流動的な中でも計画以上に事業を開催したため。</p> <p>II 1・・・アンケートは「武道演武会アンケート」と「利用者アンケート」を実施。特に武道演武会アンケートでは開催の目的の一つでもある、武道館を知らない方たちに来ていただきたく企画した本事業について、アンケート結果から狙い通り、24%の方に初めて武道館に来館いただけたことが集計でき、事業としての目的の達成を測定できたため。</p>
	施設所管課の評価	<p>協定の基準を遵守し、良好な管理運営を行っている。</p> <p>施設の管理・運営については、適宜必要な修繕を実施していたほか、照明のLED化を行うなど、管理面において利用者の利便性向上への取り組みがみられた。また、運営面では武道団体連絡協議会と連携し、団体から無償にて講師の派遣を受け多くの武道体験教室を開催するなど、利用促進に向けた取り組みがみられたことは評価したい。今後はこれらの事業への参加者の募集方法等についての検討による参加者の増加を期待したい。</p>

総合評価	区 分	A
	特記事項	

《評価区分》

評価点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
	3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
	2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
	1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
総合評価	S	極めて良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上であり、かつ4が2つ以上である)
	A	良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上である)(上記以外)
	B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。(評価点数に2が含まれている)
	C	改善を要する管理運営状況である。(評価点数に1が含まれている)